

支援プログラム

作成日 2025年3月1日

八尾市立障害者総合福祉センター

放課後等デイサービス

営業時間 平日：下校時間～17:00

長期休暇：9:00～16:00

送迎の実施 有

社会福祉法人 虹のかけはし

法人理念：ご利用者様の自立と人権を尊重し、一人ひとりが主人公になれる生活を実現する。

その人の立場に立って考え、心動かし、行動する。

「心の共利共生」をテーマに社会と地域のまちづくりに貢献する。



支援方針

- ・一人ひとりの特性に応じて、個々の課題に取り組みながら達成感を味わい、自己肯定感を伸ばしていく。
- ・思いや気持ちを汲み取り、意思の表出、選択ができるようになる。
- ・職員との信頼関係の下、他者との関わりを経験し、楽しむ中で社会性を育む。

主な行事

季節の行事に触れる等のほか、買い物体験の実施、水遊び、クッキング、防災体験など、社会性を育むイベントも実施

★幼児から高齢者までが利用する施設であり、お誕生日会や季節のイベントなどは合同で実施するなど世代交流も行っている

職員の質の向上

障がい児保育における専門的知識、技術の向上のため、内部研修、外部研修への参加および、介助など実践的な指導

家族支援における在り方などの共有

虐待防止・身体拘束適正化委員会、感染症予防への取り組み



<家族支援>

- ・デイでの様子を具体的に伝えることで、日頃から信頼関係を築き、成長を共に喜び、共感していく。
- ・年齢と共に発達上の変化やニーズに気づき、家族が安心して子育てを行うことができるよう、家族の困りごとに寄り添いながら、一緒に解決に向けて考えていく。
- ・両親だけでなく、きょうだい児など、必要に応じて家族全体を支援していく。

<移行支援>

- ・ライフステージの移行時における支援は環境が大きく変化することも踏まえ、より丁寧に支援をしていく。
- ・移行先や平行利用先と子どもの状態や支援内容など情報の共有を行い、支援が速やかに引き継がれるようにする。

<地域支援・地域連携>

- ・子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わる保健、医療、福祉、教育などの関係機関と連携して支援を進めていく。
- ・折に触れ、地域の季節行事やイベントに参加し、地域の子供達との交流を図る。
- ・おさんぽ絵本（街かど図書館）をオープンスペースに設置し、地域の子供も自由に絵本を借りられるようにしている。

健康・生活

生活に必要な基本的技能の習得を目指し、子どもの状態に応じて適切な支援をする。

日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの機能を発展させながら、子どもに適した身体的、精神的、社会的支援を行う。



言語・コミュニケーション

言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りなど非言語コミュニケーションに必要な言葉の受容と表出を身につけることができるよう、信頼関係を構築していく。

様々なコミュニケーションツールを活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。

人間関係・社会性

信頼関係をもつことができるよう、身近な職員との愛着形成を行い、安心感、信頼感を育む。遊びを展開することで、役割分担やルールを守って遊ぶ協同あそびを通して少しずつ社会性の発達を支援する。

自己を理解することで、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるよう支援していく。

運動・感覚

日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上下肢の運動・動作の習得、補助用具などを用いて、強化を図る。

保有する感覚（視覚、聴覚、触覚など）を十分活用できるよう、運動あそびや感覚あそびなどを活動に取り入れていく。

認知・行動

一人ひとりの特性を理解し、感覚を十分活用することで、認知機能が発達するよう促す。

感覚の活用や認知機能の発達、知覚から行動の手がかりとなる概念を形成させるため、様々な活動や遊びを積み重ね、環境や状況を把握、理解ができるように、対象や外部環境の適切な認知と行動の習得を目指す。

その他

★デジタルリハビリ

デジタルアートとリハビリが融合したツール、デジタルリハビリを導入しており、楽しみながら身体を動かし、姿勢を変えて遊ぶことができる。身体機能の向上やコミュニケーションツールの獲得に繋げる。

★スヌーズレン室

子ども達が光の世界で心身共にリラックスできることを目的にギャラクシールームを設けている。